

札幌ウェルネス ビジネスコンテスト



最終審査 & 表彰式

日時

2025.12.17 [水]

START 13:00 - 17:00

観覧

無料

お申し込みは
裏面から

会場

札幌市図書・情報館
(札幌市中央区北1条西1丁目)

基調講演

「からだを知れば、働き方が変わる！
～女性の健康が拓くWellness社会～」



講師

松本 裕子

医療キャスター／株式会社 WELlyou 代表取締役

UHB ニュースキャスターを約 15 年に渡って務める。医療現場の取材をライフワークとし、「医療キャスター」という新たなジャンルを確立。UHB「病を知る」や HBC「今日ドキッ！」等にテレビ出演中。女性の健康支援にも取り組み、国際女性デーイベント「HAPPY WOMAN」など Well-being な社会を目指すプロジェクトを企画運営している。

主催 札幌市、ノーステック財団
共催 札幌市図書・情報館、札幌商工会議所
協力 STARTUP HOKKAIDO 実行委員会

札幌ウェルネス ビジネスコンテスト ファイナリスト

株式会社かんごぶらす

ビジネス部門

Kango Plus Wellness Station — Travel & Care — (副題 : Sapporo WellnessStation 2026)

“Kango Plus Wellness Station — Travel & Care —” は、看護師同行型 AI 交通と PHR による健康データ一元管理を軸に、自由に立ち寄れるサードプレイス拠点と連携したウェルネスツアーで、市民の継続的な健康や自己実現を促し、「住んでいるだけで元気になる札幌」の実現を目指します。

株式会社 Cocokara

ビジネス部門

産後うつ予防のための宿泊型 × オンライン × 短時間預かり 総合ケアモデル Cocokara

ママが限界を迎える前に休める環境を目指し、京王プラザホテル札幌で宿泊型産後ケアを運営。ママの休息と育児サポートを提供。その他、オンラインコミュニティや短時間リフレッシュ預かりを展開。

ラグスタ株式会社

ビジネス部門

運動・スポーツ情報検索プラットフォーム「Citta (チッタ)」

運動・スポーツ・健康に特化した情報検索プラットフォーム「Citta(チッタ)」。「健康寿命の延伸」「労働人口の増加」等、運動やスポーツで解決することができる社会問題のソリューションとして展開。自分の身体を知るキッカケになる「簡単カラダチェック」で、身体の不調に繋がるリスクを確認、改善の為に運動も即実践できる。

Wonder Drill 株式会社

ビジネス部門

救急情報一元化アプリコエレク

あなたの家族が救急車で運ばれた時、医師が記録作業に追われて十分な説明ができない。そんな現実を変えます。救急医が開発したコエレクは救急病院 5 施設で実証済み、記録時間 80% 削減で医師が患者に向き合う時間を創出。深刻な医師不足と高齢化に立ち向かい、医療に関わる全ての市民の安心を音声 AI で実現します。

株式会社ミルウス

ビジネス部門

サスティナブルなウェルネス可視化・行動変容に向けた広告・ データ活用による新たなビジネスモデルの開発と実証

「MIRUWS WEEAK- 快眠」は無呼吸や睡眠障害等多くの市民の悩みの原因を、貸与小型リストバンドを一週間装着するだけで可視化。公共施設や薬局等身近な場所で貸出・回収。結果は自身のスマホ等で閲覧。クリニック、寝具、サプリ等睡眠改善に向けた広告と本人同意に基づく解析結果提供を連動することによりコスト低減とデータ活用を目指す。

Haru Project

アイデア部門

女性の健康管理エージェントアプリ「Haru」

女性の健康管理エージェント「Haru」は更年期の体調変化や月経を記録・可視化するアプリです。AI による助言と共感型コミュニティで QOL の向上を支えます。「なんとなく不調だが相談できない」といった“見えにくい不調”に寄り添う UX 設計で安心感と継続性を実現し、アプリを通じて更年期の社会的理解の拡大をめざします。

平川 守優

アイデア部門

Synapse cafe

「シナプス」は「脳の充電スタンド」がコンセプトの街中に質の高い休息空間を提供する事業。学生や会社員に 15 分からの洗練されたパワナップ空間を提供し、短時間での効率的な脳の回復を実現する。既存の施設では満たせていない「短時間休息」という新市場の開拓をし、新たな都市インフラとなることを目指す。

表彰

最優秀賞

ビジネス部門から1者
支援金 **100万円** 贈呈

研究開発賞

ビジネス部門から1者

ウェルネス賞

ビジネス部門から1者

アイデア賞

アイデア部門から1者

形式

公開プレゼンテーション審査

持ち時間

1者あたり発表7分間、
質疑応答5分間(合計12分間程度)

プログラム

12:30	受付開始
13:00	開会挨拶
13:05	基調講演
13:45	アイデア部門プレゼンテーション(2者)
14:25	ビジネス部門プレゼンテーション(5者)
15:30	審査、結果発表
16:00	交流会

問い合わせ先

公益財団法人 北海道科学技術総合振興センター
(ノーステック財団) 研究開発支援部(小原・花房)
E-mail:kenkyu@noastec.jp TEL:011-708-6392

観覧申し込み
締切日

12月10日(水)

下記 URL もしくは二次元バーコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/s2vNn56DkMhPa7JlU7>



※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選結果は12月12日(金)までにメールで通知いたします。